



専門分野

老年看護学

シラバス

[illegible]

シラバス

科目名	老年看護援助論Ⅰ	単位	1	時間数	15	開講時期	1年次後期	担当者	教員
学習のねらい	高齢化率の増加に伴い、あらゆる領域で「老化」の知識なしに看護を実践できない状況であり、家族関係を考えた際にも、高齢者の課題は避けられない。医療体制が病院から地域へとシフトしてきていることを考えると、地域全体で高齢者ケアを考え、生活機能の視点をもって看護を実践していく必要がある。高齢者の加齢的变化を理解した上で、高齢者が健康な生活を意識した行動がとれるように日常生活への援助について学ぶ。								
目的・目標	目的；老年期の対象を生活の観点からアセスメントし、基本的な援助を理解する。 目標；１．老年期にある対象へのアセスメントを行う視点と留意点を理解できる。 ２．高齢者の生活を支援するための援助を理解できる。								
授業計画	1回（45分×2）． 老年看護の役割 2回（45分×2）． 生活機能を整える看護（コミュニケーション技術） 3回（45分×2）． 生活機能を整える看護（生活リズム） 4回（45分×2）． 生活機能を整える看護（清潔） 5回（45分×2）． 生活機能を整える看護（食事） 6回（45分×2）． 生活機能を整える看護（排泄） 7回（45分×2）． 生活機能を整える看護（校内実習：おむつ交換・義歯の手入れ） 8回（45分×1）． 試験（45分）								
評価方法	筆記試験（90%）、課題提出状況（10%）で評価する。								
教科書	系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院								
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ③								
履修要件	解剖生理学								

シラバス

[illegible]

シラバス

[illegible]